



四国だより

2025.1 第3号



一般社団法人 日本道路建設業協会四国支部

支 部 長 挨 拶

新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

一般社団法人日本道路建設業協会四国支部の支部長を務めさせていただきます。松井でございます。

協会員の皆様におかれましては、常日頃より当協会の活動に格別のご高配とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のご挨拶でも触れましたが、近年の自然災害の激甚化は深刻な問題であり、有事における迅速かつ的確な対応が我々道路建設業界に求められております。

その象徴的な出来事で記憶に新しいのが、令和6年1月1日に石川県能登地方を震源として発生した「令和6年能登半島地震」です。

最大震度7、マグニチュード7.6の大型地震により241名の尊い命が失われました。

私も兵庫県内の営業所に在任中、平成7年1月17日に発生した「阪神淡路大震災」を経験しております。当時の災害としては戦後最大規模の被害を出した「都市直下型地震」で、道路をはじめ鉄道、電気、水道、ガス、電話などの生活インフラの殆どが寸断され、都市機能は広範囲に渡り機能停止の状態に陥りました。そんな絶望的な状況のなか、日々「生活インフラの復旧」に向け、昼夜を問わずひたすら舗装に明け暮れたことを、まるで昨日のここのように思い出します。

地震災害のみならず、火山災害、風水害、斜面災害、雪氷災害などの自然災害は、何の前触れもなく突然我々社会全体に襲い掛かります。そんななかで被災地域の復旧・復興を迅速に進めるためには、必要な関係予算が安定的かつ持続的に確保されるような働きかけが求められます。

我々道路業界は、自然災害などあらゆるアクシデントにも対応できる『社会に評価される魅力ある業界』であり続けるため、当協会では『道路建設技術の向上』、『研究開発』、『道路整備の推進』の3つを柱とした様々な活動を行っております。その中で、昨年行われた代表的な取組について幾つか紹介させていただきます。

まずは私どもの専門である道路舗装に関する技術講習会を、若手技術者がメイン講師となって開催いたしました。道路舗装の基礎知識を学ぶとともに道路建設の魅力を若手技術者に実感いただくことが主たる目的で、多数の出席申込をいただき、大盛況の中大変意義ある講習会となりました。

他にも国土交通省四国地方整備局との『意見交換会』を通じて、道路建設業界をとりまく現状や課題、今後のあるべき姿について活発な議論を展開いたしました。

また、四国支部では社会貢献活動の一環として、道の駅への発電機・投光器の寄贈などを行ってまいりましたが、昨年は子育て支援活動の一環として「道の駅 内子フレッシュパークからり」及び「道の駅 よって西土佐」に「授乳施設」を寄贈いたしました。

最後になりますが、2025年が協会員の皆さまにとって素晴らしい年となりますことを心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



支部長 松井 耕二

(大林道路株式会社四国支店 執行役員支店長)

幹 事 長 挨拶

新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

一般社団法人日本道路建設業協会四国支部の幹事長を務めさせていただきます。岩崎と申します。

協会員の皆様におかれましては、常日頃より当協会の活動にご支援とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

はじめに能登半島での地震や豪雨をはじめ各地で発生した自然災害でお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りし、被災された方々にお見舞い申し上げます。

当四国支部としても引き続き道建協本部と地方整備局での災害協定に基づき関係機関や業界団体等との連携を密にし、緊張感をもって対応してまいります。

当協会の四国支部は13社を擁する団体として、「道路整備の推進」「道路技術の向上」「道路建設業の健全な発展」の3つを基本方針として活動してきました。

さて四国支部事業活動については

R5年度から新たな社会貢献の推進としてスタートした子育て応援施設等の整備を支援、R6年度は道の駅内子フレッシュパークからり、道の駅よつて西土佐へ寄贈。また、道路清掃等を通じた社会貢献活動、災害対策への対応として防災支援体制の整備、防災訓練の実施をおこなっております。さらに、道建協本部主催講習会等への支援としてi-Construction技術講習会の開催、舗装施工管理技術者講習会や舗装施工管理技術者及び舗装診断士資格試験の実施も行っております。

四国支部主催講習会の実施内容については、会員会社の若手職員を対象としたコミュニケーションやリーダーシップに特化した体験型の研修を実施し、コンプライアンス活動として講習会の開催、支部会員会社の専門知識を持った技術者が講師と若手技術者に発表させる道路舗装技術に関する四国地方整備局とのWeb技術講習会、会員会社による合同安全パトロールの実施、四国地方整備局等との意見交換会を事業活動としています。

一方、道路建設業界は、時間外労働の上限規制が適用される中離職者の増加などもあり、将来の担い手不足が危惧される中で「担い手確保」が依然として大きな課題となっています。このため道路建設業の社会的評価の向上に向け、引き続き人が集う魅力ある道路建設業界を実現すべく活動するとともに、協会活動の更なる活性化と会員サービスの向上を図ることに益々取り組んでいきたいと考えております。

最後に会員各社皆様の今後益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



幹事長 岩崎 秀紀
(日本道路株式会社四国支店 支店長)

【支部活動】 支部定時総会の開催

一般社団法人日本道路建設業協会四国支部は、令和6年6月20日(木)にJRホテルクレメント高松において、第59回定時総会を開催しました。

本部からは、吉川芳和常任理事、向井地博史常務理事にご出席いただきました。

初めに松井支部長が開会挨拶を行い、続いて吉川常任理事よりご挨拶をいただきました。



松井支部長 開会挨拶



吉川常任理事挨拶

支部運営規則の規定により松井支部長が議長となり、12社出席、委任状提出1社により総会は適法に成立することが報告され議案審議に入りました。

事務局より、議案第1号「令和5年度事業報告(案)」、議案第2号「令和5年度決算(案)」について説明し、会計監事による監査報告が行われました。議長より、議案第1号及び議案第2号について承認を求めたところ、異議なく承認されました。

次に、事務局より令和6年度事業計画、令和6年度予算について報告を行いました。

次に、議案3号「役員選任の承認」が上程され、事務局の説明後、異議なく承認されました。

次に、令和6年度は役員改定の年に当たるため、議案第4号「役員を選任」を上程しました。

議長より幹事及び会計監事の選任方法について求めたところ「議長一任」となったのを受け、役員会推薦の候補者名簿を配布し承認を求めたところ、拍手により意義なく承認されました。

続いて、新支部長の選出を行うため別室で新役員による幹事会を開催し、役員の互選により新支部長に松井幹事が選任され、直ちに会長代理として出席された吉川常任理事より四国支部長に任命されました。幹事長については幹事の互選により岩崎幹事が選任され、松井支部長より任命されました。役員会終了後、議長より、以上をもって支部総会は全ての議案の審議及び報告が終了したことが宣言されました。そして松井支部長が新役員を代表して就任挨拶を行い、支部総会は終了しました。

支部総会に続いて、技能社員表彰の伝達式を行い、吉川常任理事より表彰状及び記念品が授与されました。



【支部活動】 道路建設意見交換会の開催

一般社団法人日本道路建設業協会は、令和6年9月30日(月)にJRホテルクレメント高松において、四国地方整備局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、西日本高速道路(株)四国支社及び本州四国連絡高速道路(株)との道路建設意見交換会を開催しました。

【意見交換の議題】

1. 公共工事予算の安定的・持続的な確保
2. 道路舗装工事における労働環境の改善と担い手確保
3. 道路舗装工事における i-Pavement と新技術開発の推進と普及
4. 入札・契約制度の改善
5. 舗装工事積算の改善
6. 道路舗装のメンテナンスサイクルの確立
7. 無電柱化の推進
8. その他(各道路管理者との災害時対応、社会貢献活動、安全管理優良工事表彰の実施)

【主な出席者】

日本道路建設業協会 : 西田会長、石井副会長、増田副会長兼専務理事
松井四国支部長、岩崎四国支部幹事長 他

四国地方整備局 : 豊口局長、奥田企画部長、荻野道路部長

徳島県 : 朝田県土整備部長

香川県 : 生田香川県理事

愛媛県 : 吉良土木部長

高知県 : 横畠土木部副部長

西日本高速道路(株)四国支社 : 後藤支社長

本州四国連絡高速道路(株) : 田村坂出管理センター所長



左より、増田副会長、西田会長、石井副会長



左より、奥田企画部長、豊口局長、荻野道路部長



左側 四国地方整備局等出席者



右側 道建協出席者

【支部活動】社会貢献活動 道の駅への授乳施設の寄贈

一般社団法人日本道路建設業協会は、一般社団法人全国道の駅連絡会と連携し、国土交通省が推進する道の駅「子育て応援」施設の整備支援として全国の道の駅のベビーコーナー設置率50%以上を目指す取組みに協力し、令和5年度より3年間で全国の道の駅150駅に「授乳室（授乳チェア付）」を寄贈する取組みを実施しています。

令和6年度、四国支部においては、「道の駅 内子フレッシュパークからり」と「道の駅 よって西土佐」に寄贈を行いました。

■道の駅 内子フレッシュパークからり

- ・日 時 令和6年10月4日(金)
- ・出席者 内子町 小野植町長、大久保農林振興課長
四国地方整備局 江川大洲河川国道事務所長
株内子フレッシュパークからり 山口代表取締役社長、木ノ下総務部長
四国支部 松井支部長、岩崎幹事長、大植会計監事、圖子事務局長



前列左から江川所長、小野植町長、松井支部長



小野植町長から松井支部長へ感謝状の贈呈

■道の駅 よって西土佐

- ・日 時 令和6年10月24日(木)
- ・出席者 四万十市 中平市長、西土佐総合支局 朝比奈支所長
四国地方整備局 須田中村河川国道事務所長
株西土佐ふるさと市 桑原代表取締役、中野マネージャー
四国支部 松井支部長、岩崎幹事長、圖子事務局長



前列左から桑原代表取締役 松井支部長
中平四万十市長、須田中村河川国道事務所長



松井支部長から中平市長へ目録の贈呈

【支部活動】 道路舗装に関するWeb技術講習会

四国支部では、令和4年度より四国地方整備局と協働で道路舗装に関するWeb技術講習会を開催しています。今年度は、令和6年12月10日(火)に四国地方整備局災害対策室において開催しました。

講習会のポイント

- ① 多くの方が参加できるように、四国地方整備局災害対策室からテレビ会議システムを利用して配信しています。また、整備局のリクルート担当より、大学・高専等の担当教授に参加者の募集を行って頂きました。

応募者数	四国地方整備局職員	71名
	大学・高等学校生	9名
	建設コンサルタント協会四国支部会員	56名
	道建協四国支部会員	36名

- ② 講習会では、受講生の皆様に道路業界に興味を持ってもらえるよう、講師には自己紹介や自身の体験を踏えたお話をしています。また、単にテキストによる授業だけではなく、講師が実際に担当した道路舗装工事を撮影してもらい、動画を見ながら工事手順や留意点の解説を行って頂きました。

令和6年度講習内容

- ・舗装の設計・施工と詳細調査 日本道路㈱四国支店
- ・道路舗装の修繕工事(動画) ㈱NIPPPO四国支店

- ③ 講師は四国支部会員会社の若手技術者に、司会は整備局の若手職員にお願いしました。講師の方には、ご自身の説明能力や技術力の向上に寄与することを期待しています。
- ④ 講習会が道路舗装業界の魅力を発信する一助になればと考えております。



日本道路㈱四国支店 大東さん、高橋さん



㈱NIPPPO 四国支店 山根さん、宮野さん



左より、田中技術調整管理官、松井支部長
岩崎幹事長、NIPPO 高橋支店長



会場全景

【支部活動】 i - Construction 技術講習会

日本道路建設業協会と四国地方整備局は、令和6年12月20日(金)に四国地方整備局四国技術事務所において、舗装 i-Construction 技術講習会を開催しました。

平成28年度に i-Construction が土工事に導入され、平成29年度には ICT 舗装工事として直轄工事で発注され始めたことを受け、日本道路建設業協会では平成29年度から地上型レーザースキャナー(TLS)を用いた測量と出来形管理に関する技術講習会を全国で開催しています。

講習会は日本測量機器工業会にご協力いただき、実習では3台の実機に触れながら、TLSの鉛直・平面制度の確認方法や出来形計測を体験して頂きました。

■講習内容

1. 四国地方整備局のi-Constructionの取組【座学】
2. 舗装のICT施工技術【座学】
3. 地上型レーザースキャナー(TLS)を使った測量と出来形管理(日本測量機器工業会)
 - ①【座学】3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編」等の解説
 - ②【座学】ICT活用工事(舗装工)5つのプロセスとソフトウェアの説明
 - ③【実習】TLSの精度確認試験(鉛直精度、平面精度)
 - ④【実習】TLSによる出来形計測
 - ⑤【座学】レジストレーション、TLSの精度確認結果の解説
 - ⑥【座学】3次元設計データの作成、3次元点群データの処理
3次元出来形の施工管理と3次元データの納品
 - ⑦【座学】i-Construction FAQ解説



福島四国技術事務所長開会挨拶



四国地方整備局技術管理課淀補佐より、i-Constructionの取り組みについて説明



3次元設計データの作成、3次元点群データの処理について説明



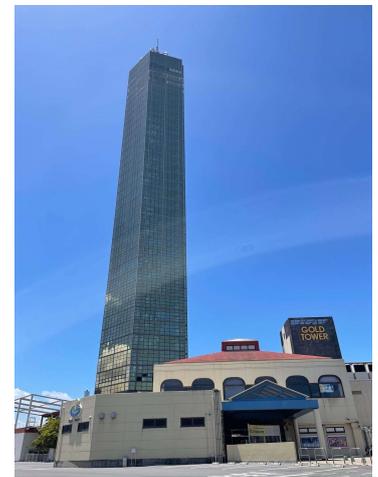
3台の実機を使用した実習

会社紹介（世紀東急工業株式会社 四国営業所）

四国営業所は、香川県綾歌郡宇多津町 浜 5 番丁 50 番 5 号に設けています。宇多津町は、北を瀬戸内海に、東隣りに本四架橋児島・坂出ルートに着地点である坂出市、西隣りに丸亀うちわの丸亀市に接する面積 8 km²、人口 1.8 万人程の極く小さな町です。営業所があるのは、通称宇多津新都市と呼ばれている地区です。嘗ては日本一の塩田であったところが、その使命を終え昭和 47 年に廃田となりました。



その跡地が、宇多津町、香川県、地域振興整備公団の手で、土地区画整理事業の手法により整備されました。面積 1.86 km²程ですが、幾棟もの高層マンションやホテル、ショッピングモールなどが見られ、現在人口 8.3 千人が暮らす近代的な街になりました。



街の真ん中を東西に貫くさぬき浜街道 2km 区間は、中央 4 車線、十二分に確保された側道、自歩道で総幅員 50m の街路は実に壮観です。

さて弊社は、国土交通大臣の特定建設業の許可を戴いて建設業を営んでいます。許可項目は、土木工事業、建築工事業、舗装工事業など 10 種です。

主な営業内容は、次の通りです。

- ① 高速道路をはじめ各種道路、空港、港湾、店舗・工場の駐車場などの舗装工事
- ② 公園、神社仏閣、観光施設などの景観舗装工事
- ③ スポーツ施設のグラウンド・コートなどの特殊舗装工事
- ④ ダム、ため池、水路等の止水・防水工事
- ⑤ 各種施設の外構工事

弊社は今、過去のいろいろな経験を糧に、これまで以上に社会貢献できるサステナブルな会社を目指して行動しています。どうか会員の皆さま方に於かれましては今後ともご協力いただけますようお願いいたします。

令和 6 年 10 月 31 日 脱稿

会社紹介（日本道路株式会社 四国支店）

四国支店では四国四県を管轄地域とし、「道からはじまる街づくり」を日々実践しております。近年の環境対策というニーズに応えた、環境工法や社会貢献活動を紹介します。

◆木煉（リサイクル木質成形舗装ブロック）

木質チップ材に特殊添加剤を混ぜ合わせ、高圧なプレスにより締め固めたのが『木煉』です。伐採した木を使用した『木煉』を活用することで、炭素を貯蔵し続け、『森林資源の循環利用』『炭素の固定化』という、2つの側面でカーボンニュートラルの実現に繋がります。

特長

○夏季の温度上昇を抑制

木煉は、表面温度の熱伝導率がコンクリートの約1/10と断熱性に優れているため、熱をブロック内部（内側）に伝えにくく蓄熱されません。

○歩きやすい

足や腰への負担が軽減され歩行性が向上します。炎天下でも裸足で遊べ、衝撃吸収性に優れており転倒しても安心です。建物のアプローチなどに最適です。固く無機質なコンクリートブロックよりも歩きやすい舗装材です。『地産地消』でも製造可能です。右の写真は、高知県高岡郡梶原町のやまがら公園で2024年3月に施工しております。



◆土浦テクノ BASE

○土浦テクノ BASE の運用を2024年4月から開始しました。「『技術の日本道路』の持続的な進化の実現」をコンセプトに、社員が最新技術や技能を習得する研修の場だけでなく、環境工法や製品、当社の歴史、社会貢献活動など幅広い情報を紹介するショールームを併設した情報発信拠点です。

○土浦テクノ BASE では8月に、初めて中学生の職場体験学習の受け入れを行いました。土浦市立新治学園義務教育学校の生徒2名に参加いただきショールームの見学、機械センターでの舗装特殊機械の乗車体験や技術研究所での試験作業などを通じ道路や建設業の仕事に関する理解を深めていただきました。



◆『日本道路の森』活動

当社が高知県・梼原町と協働して行っている「協働の森活動」について紹介いたします。梼原町との関係は1971年に当社が梼原工事事務所を開設したときに遡ります。その後2008年に「環境先進企業との協働の森づくり事業」のパートナーズ協定が結ばれ、日本道路の森活動がスタートしました。今ほど『カーボンニュートラル』という言葉が広く知られる前からです。

この活動は、地域の自然環境を守り、将来の世代にも豊かな自然を残すことを目指しています。また、地域の経済活動にも貢献し、観光資源としても活用されています。具体的な活動として、以下のようなものがあります。

○植樹活動

地域の森林再生を目的とした植樹活動が定期的に行われています。地元のボランティアや企業の協力を得て、苗木の植樹や手入れが行われます。

○セラピーロードの補修活動

久保谷セラピーロードと呼ばれる森林内の散策道の清掃、補修活動も実施されています。これにより、訪れる人々が快適に自然を楽しむことができるように維持されています。

今年度は11月18、19日に四国管内だけではなく本社や中国支店から総勢30名あまりの職員が参加し、地域の環境保護と持続可能な森林管理を行いました。



今年で15回目を迎えました。



植樹活動



セラピーロードを参加者で歩きました。



セラピーロードの補修活動

会社紹介 (株式会社NIPPO 四国支店)

弊社はアスファルト事業を展開する日本初の株式会社「中外アスファルト(株)」を前身として、昭和9年(1934年)2月2日に日本石油(株)(現ENEOS(株))道路部と浅野物産(株)道路部の事業を承継し、日本舗道株式会社として設立されました。以来、「道」を中心として、社会基盤の整備に携わり、社会の発展に寄与すべく活動してまいりました。



四国支店は香川県高松市、国の特別名勝に指定された栗林公園の近くに事務所を構え、四国四県を管轄地域として活動しております。

今回は弊社の社会貢献活動およびカーボンニュートラルへの取り組みについて紹介します。

・社会貢献活動への取り組み

全社で8月「道路ふれあい月間」2月「創立記念日」ボランティア清掃活動を実施しています。また当支店は令和4年6月に「高松マイロード」に認定され、毎月月初に清掃活動をおこなっています。

2011年度より、アスファルト合材の売上げの一部を「NPO法人 世界の子どもにワクチンを」へ継続して寄付をおこなっています。

ほかにも「良いことを皆で考え、行う」企業風土作り(意識向上)の一環として事業所毎に活動をおこなっています。



道路舗装業界初!

NIPPO事業所・合材工場でCO₂フリー電力を導入

年間**59,000t**のCO₂を削減!
※削減量は2013年度比
 グリーンキ約**17万本分** (※削減量は2013年度比)

NIPPOでは、全国の事業所、アスファルト合材工場(21ヵ所)で使用する電力を二酸化炭素排出量ゼロ(CO₂フリー)にしています。
 年内にはすべての対象事業所(27ヵ所)での切り替えが完了予定です。
 NIPPOは、道づくりまちづくりにおいても、カーボンニュートラル実現に向けて取り組んでいます。

再生可能エネルギー
 由来の電力など

水力発電
 バイオマス
 太陽光

NIPPO
 本社
 事業所
 合材工場

確かなものづくりを通して
 豊かな社会の実現に貢献するために。

この道の先に
NIPPO

株式会社 NIPPO <http://www.nippo.co.jp>
〒760-0001 香川県高松市東通町1-10-11 電話:0570-560-8711

・カーボンニュートラルへの取り組み

弊社では道路舗装業界では初となる、全事業所においてCO₂フリー電力の導入や、合材工場では、フォームドアスファルト技術による合材製造温度の低減など積極的にCO₂の削減に取り組み、2013年度比で39%削減しました。

今後「カーボンニュートラル」を達成する為には、新たな取り組みが必要となります。全員で知恵を出し、一丸となって、取り組みを進める為、年4回の「SDG s 通信」発行と勉強会の開催により、その理解と意識レベルの向上を図っています。

会社紹介（三井住建道路株式会社 四国営業所）

三井住建道路は1948年設立、2003年10月に合併後、現在の形態となり22年目を迎えております。経営理念である「顧客満足度の追求」「株主価値の増大」「社会活力の重視」「社会性の重視」「地球環境への貢献」をもとに、これからも安全で快適な社会インフラの創造に役職員一同寄与してまいります。

四国営業所は合併後、高松・新居浜・松山と拠点が移り変わり、現在の愛媛県西条市に拠点を置き約10年、今の営業所を構えて約5年が経ちました。主に、西条新居浜近隣を中心に四国一円及び中国地方の一部をエリアとして事業活動をおこなっております。



【社会貢献活動】

地域社会への貢献活動の一環として「SMRC船屋まち美化クラブ」として月1の町内清掃活動を実施しております。

現場が始まる早朝に集合し、営業所周辺道路の清掃及び除草を行っております。夏場は早朝とはいえ着替えが必要になるぐらい汗だくになり、冬場は瀬戸内海沿いの冷たい北風にさらされながら活動を行ってきた結果、地域の方から感謝の言葉を頂けるような活動に成長いたしました。



今後の活動も、キャッチコピーでもある「大地とともに歩む 三井住建道路」として、精進してまいりたいと思います。

会員だより （世紀東急工業 四国営業所 丸岡 敏明）

平凡（へぼ）将棋談義！

世の中には、80を超えた年寄りを雇う奇特な会社もあるものです。厚かましく雇われているのが私です。本人は元気な心算だが、傍目には、きっと衰れに見えていることでしょうか。若いころ先輩の方々が名刺を置いて行かれるうしろ姿を見てそう思っていました。ところが、齢を重ねるとともに様々な重圧から解放され、今は兎にも角にも毎日が嬉しい。



昭和 20 年終戦の年に尋常小学校に入学した私には、当時の極貧状態が解消され今日の豊かさが享受できていることに感謝です。狩猟、農耕、工業、情報化社会への変遷によって人々の生活が便利で豊かになり苦役から解放されることは喜ばしいことです。ただ気掛かりなこともあります。社会の発展とともに人心も変容していることです。

今では、祭りばやしの聞こえない秋祭り、「ふつう（普通）」などは使ってはいけない禁止語など先人達が築かれた文化や言語が人為的に淘汰されようとしています。演歌の歌詞に「時が移れば、世間も変わる。変わりようないおいらの心。」の心境です。

私が子供の頃にもよく喧嘩はありましたが、一方が降参すればそれでけりがついていました。人以外の動物も同様です。それが近年未成年者の集団による喧嘩の域を超えた痛ましい事件の多発がとても心配です。こんなに豊かな社会なのに何が誘因でしょうか。

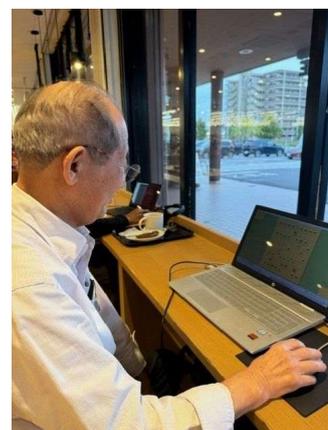
話題を変えて仕事の話をしてします。昭和 35 年頃に愛媛県宇摩郡土居町で、アスファルトを使って道路舗装するところを見ました。四国では最初だったかも知れません。土木研究所から赴任されて来た所長さんの千頭指揮で、砂利敷均し、転圧、ドラム缶で加熱したアスファルト乳剤散布、砂敷均し、転圧する工法だったと記憶しています。

現在は、プラントで加熱混合され品質も安定した合材が使われています。道路のアスファルト舗装技術の初期段階から今日までの技術の進展を傍観してきた私には隔世の感があります。

今の私の仕事は、各種書類の保存期間をチェックし整理・廃棄するのが主です。どの書類を視ても概ね内容が判ります。判らない時は、徹底して調べます。これが実に嬉しい。

では仕事以外の楽しみはと聴かれると、近頃は インターネット の「へぼ将棋」に嵌っています。週 2~3 回スターバックスで全国の愛好家を相手に対戦しています。年齢は、50 代~90 代で若い人はいません。

将棋は、盤面全体を注意深く視て見落としがちなこと、先を読むことが肝要です。私も、へぼ将棋を長年続けて想うことがあります。下手には上級者の力量は図れませんが、上級者には、指し始めて数手で下手の強さが判ります。組織の中で何も判らず上司を批判する部下と上司の関係、先輩と後輩の関係、親子関係にも通ずるところがあると思います。



将棋には、歩兵、香車、桂馬、銀将、金将、角行、飛車、王の8種類（兵士）の駒があって動か
し方（能力）がそれぞれ異なります。勝敗は、お互いに駒を動かし取りつ取られつしながら、相手
の王さまの逃げ場所を無くする（詰み）と勝ちになります。

将棋を会社経営に例えると駒を動かす人は経営者、盤面は会社の目標、駒は社員になります。駒
は勝手には動きません。指し手が一手一手交互に駒を動かすことで戦いが進行し、指し手順のうま
い方が勝つことになります。駒には責任がありません。勝敗の責任は全て指し手にあります。

将棋の格言に「歩のない将棋は負け将棋」、「王より飛車を可愛がり」などがあります。歩兵は
一步前進する能力しかない一番弱い駒ですが、先に歩得すると多少有利になると云われています。
また将棋の場合は、先着（先手番）するのが確実に有利とも未だ解かっていません。藤井聡太さん
のようなプロの場合はハンデがありませんが、私のような素人が対戦する場合は上級者に駒を減
らしてもらって対戦する駒落ち将棋です。

カラーテレビが出始めた頃だったと思います、国宝級の神社仏閣の修繕に携わる宮大工の小川棟
梁さんが「弟子入りしてくる若者も、扱う材料もみんな不揃い、これを如何に巧く使いこなすかが
私の仕事」と話されたのを思い出しました。どこか将棋と似ています。

将棋は手元不如意でも楽しめます。ただ時間を浪費するので注意を。以上老い耄れが、縷々下ら
んことを書いてしまいました。何卒ご容赦を！

令和6年10月29日 脱稿

会員だより （株式会社NIPPPO 鈴木 将斗）

～四国の道～

皆様ご安全に。

私は、令和4年5月に四国へ配属となりました株式会社NIPPPO四国支店の鈴木将斗と申します。

今回は私が四国で見つけた推し活についてご紹介したいと思います。社会人となり生まれて初めて訪れた四国では、文化や方言などの違いからこれまでにない発見や経験が多くありました。その中でも、生活の中でよく耳にする「お遍路参り」について関心を持ちました。一昨年より少しずつ挑戦しており、現在は63番吉祥寺（愛媛県）参りまで終わっております。



「お遍路参り」とは弘法大師（空海）が修行した88か所の霊場を巡礼することで、各札所で納経帳に御朱印をいただきます。四国全域をめぐる旅路ですが、参拝ルートがあり徳島⇒高知⇒愛媛⇒香川と海沿いにぐるっと一周するように作られているのが特徴です。総移動距離は約1,400kmを超えるといわれており、交通路が発達していない時代には途中で行き倒れる参拝者も多かったようです。



（第二十番札所 鶴林寺）

私も現在挑戦中ではありますが、壮絶な山道や果てしない階段に何度か心が折れかけました。しかし苦勞してたどり着いた山頂からの景色やふと納経帳の中身を見返した際には大きなやりがいを感じずにはられません。

また私が感じる別の魅力として、それぞれの土地の新たな発見があるところです。四国初心者だった私は特に強く感じた点として、実際に各地を回る中でネットやSNSの情報では巡り合えない名産や観光スポットに出会うことが出来た点が非常に魅力的でした。

現在四国全域では、「お遍路参り」を将来の世界遺産とするプロジェクトが行われております。日本で生活する皆さんにはぜひ挑戦していただき、長い旅路を通して四国の道を堪能していただければと思います。

私自身も地域の誇る文化を学びつつ、建設業という業種を通し四国地域の発展に貢献して参りたいと思います。

今後ともご指導の程よろしくお願ひいたします。



（瀬戸内海 女木島）

会員だより （日本道路株式会社四国支店 松尾 柁佑）

四国の絶景を求めて！

2024年4月より四国支店へ配属となりました。自然を求め、休日は四国の各地へドライブして過ごしています。四国地方の魅力は、瀬戸内海と太平洋に囲まれ、中央には四国山脈が連なり、海・山・川といった様々な自然が織りなす絶景がたくさんあります。私が行った中でおすすめの絶景ポイントを3つ紹介します。



○足摺岬

断崖絶壁から太平洋の景色が一望できます！海と青空のコントラストが美しく、自然の雄大さを感じられます。足摺岬展望台へと続く広場には、幕末の志士に影響を与えた郷土の偉人・ジョン万次郎の銅像があります。高知の景勝地には、室戸岬には中岡慎太郎、桂浜の坂本龍馬の3人の銅像が建てられており夢を追うかのように遠くの大海原を見つめているのが印象的でした。

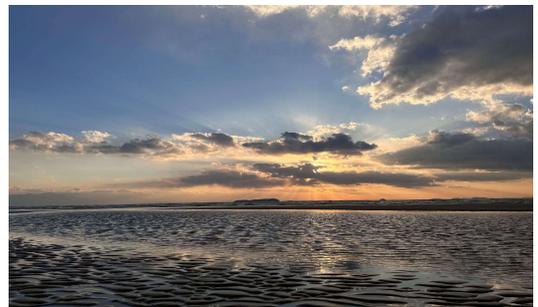


○石鎚山

愛媛県にある標高1982m、西日本最高峰です。夏には緑、秋には紅葉、そして冬には樹氷が周囲の峰々を覆い、四季折々に素晴らしい景観を見せてくれます。山頂からはしまなみ海道、瀬戸内海を望め、四国の頂にいたることを実感しました。「石鎚登山ロープウェイ」を利用する「成就ルート」で登りました、途中で鎖場があり、鎖をつたい、絶壁を登ることができ、スリル満点です。

○秩父ヶ浜

香川県三豊市の約1kmのロングビーチを誇る穏やかな海水浴場で潮が引いた干潮時の夕暮れには、潮だまりから、太陽とのコンビネーションでウユニ塩湖のような写真が撮れます。日没直前は青かった空が黄色や赤色に染まっていく幻想的な景色を眺めることができます。



四国の旅は、自然が織り成す風景に感動し、旅の途中では、食べた事のない美味しさのカツオや温泉に、まるで時間が止まったかのような充実した日々を過ごすことができました。四国の素晴らしさを少しでもお伝えできたなら幸いです。まだ訪れてない場所も多いので、今後も四国制覇を目指して、新たな絶景探しの旅に出かけたいと思います！

会員だより （三井住建道路株式会社 河野 康弘）

西条祭り！

地元の西条祭りについて紹介したいと思います。

西条祭りは愛媛県西条市内で毎年 10 月に開催されます。江戸時代から続く五穀豊穰を神に感謝する神事で、4 つの神社（嘉母神社・石岡神社・伊曾乃神社・飯積神社）の祭礼の総称です。祭礼日は神社ごとに異なりますが、百数十台の屋台（だんじり、みこし、太鼓台）が奉納されます。西条市民の大多数が祭りに参加し、祭り期間中は市内各所で交通規制がかかり、西条全体が祭り一色になります。学校や地元企業の多くが休みになります。遠方に暮らす西条出身者は、「盆、正月は帰省しなくても祭りには帰省する！」と言われるほどこの地域の人には特別なものです。幼い頃は親について行き、出店も沢山あるので毎年楽しみで金木犀が香る頃になるとソワソワしていました。



西条祭りの中でも最大規模である伊曾乃神社の祭礼を紹介します。10 月 15 日宮出しです。午前 0 時を過ぎた頃、伊曾乃神社へ奉納される 80 台以上の屋台が発進はじめ、提灯を灯し威勢よく太鼓や鉦を響かせ、神社を目指します。午前 2 時頃より屋台が伊曾乃神社へ集まりはじめ、神輿をお迎えします。参道の石段を担ぎ上げ、境内前で練る姿、生き生きとした表情からは、1 年間待ちに待った祭り人の喜びが感じられます。



そして翌 16 日も未明から屋台が『御旅所』へ集まります。御旅所では沢山の提灯を灯し勇壮に走り込むみこしの練りが見どころです。ここからは一日、統一運行になり夜明けと共に 1 番だんじりから『御殿前』へと移動します。御殿前では、西条高校（旧西条藩陣屋跡）の大手門前の道路上に屋台がずらりと並びます。大手門前で差し上げを披露し、その姿が陣屋を囲むお堀の水面に映る光景は情緒があります。

その姿が陣屋を囲むお堀の水面に映る光景は情緒があります。

祭りのフィナーレは 夕方の方の川入りです。夕方になると加茂川の土手沿いに屋台が並びます。陽が落ちてきて一列に並んだだんじりに提灯が灯されるとなんとも言えない幻想的な光景が広がります。神輿が加茂川を渡り宮入りに向かうのですが、10 台余りのだんじりが祭りの終わりを惜しみ、川の中で練り合います。その様子はまさしく水の都の祭礼にふさわしいクライマックスです。



帰り道、揺れる提灯の灯りを見ながら また来年の祭りまで頑張ろうと思うのです。

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

広報誌「四国だより」も3回目の発行となりました。執筆していただいた皆様ありがとうございました。引き続き各社のトピックス、社員紹介、支部活動についてお届けします。

四国支部では本年度も会員の皆様のご協力のもと、第59回定時総会をはじめ各種講習会の開催や道の駅への授乳施設の寄贈等社会貢献活動を実施しました。今後とも道路建設業の発展につながる取り組みを続けてまいりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。



さて、今年の表紙写真の神山しだれ桜の遊歩道は、すだち農家だったご主人が三本の苗木を譲り受けたのをきっかけに植樹をしつづけ、今日に至るそうです。こつこつ整備された遊歩道に沿って桜のトンネルを上ると、約500本のしだれ桜が斜面一面に広がっています。満開時はすばらしいの一言につきます。個人所有の私有地で、毎年無料で一般公開されていて開花期間中は大変混雑します。

これから冬本番となり寒い時期が続きますが、桜は2月には休眠から目覚め、今年もまた訪れる人々を魅了する準備を始めます。皆様に幸多き春が訪れますようにお祈り申し上げます。

令和7年1月

事務局長 圖子 正典

発行

一般社団法人 日本道路建設業協会四国支部

〒760-0017 高松市番町4丁目8番20号

TEL 087-861-6501 FAX 087-861-6502

E-mail shikoku-dohkenkyo@onyx.ocn.ne.jp

表紙写真 神山しだれ桜の遊歩道

(徳島県名西郡神山町鬼籠野)